ひろば

ミニコミ紙

第41号　平成9年7月20日
発行責任者　鈴木武一
事務局　用賀出張所
TEL. 3700-3657

児童館で楽しい子育て

上用賀四丁目　柴田香江

私達「おはなしランド」は、上用賀児童館幼児サークル第一期生のお母さんたちが、職員の協力を得て始めたおはなし大好きなお母さん達のグループです。

児童館十周年の歩みと共に、私達の活動も今年で十年。おはなしを通して、地域の子供達に「心の豊かさ」を育んでほしいと思い、活動を続けてきました。

月一回児童館の図書室で、絵本の読み合せ、手作り絵芝居の製作、人形劇の練習、パネルシアター、素話などに取り組み、「ちいさいおはなし会」として、年六回幼児サークルの子供達を中心に、三十分の楽しいひとときを過ごしています。

自分の子育てに閉じこもりがちな毎日の中で、キラキラ輝く子供のエネルギーをもらって、これからもがんばるつもりです。

学校ティサッカー

玉四丁目　白原良憲

僕たちは、二子玉川スポーツ少年団のOBです。

社会人になって、運動するヒマもなくなったし、仲間と会えるチャンスも少なくなってしまって残念に思っていました。

たまたま二子玉川小学校の校庭に、小さな照明装置があるのに気がついたので学校にお願いしてOBチームを作りました。

仕事が終って、三個のスポットライトでは暗いけど、校庭でのナイターサッカーを楽しんでいます。

地域の勤労青年にとって有効な施設利用だと思うので学校と世田谷区に感謝しています。

まちばはなざかり

地域活動さまざま

六十の手習

用賀三丁目　三浦千寿子

家事の合間に、六十の手習ということで、書道を始めてみました。

年を重ねるにつれ、筆を使うことが多く、近くの、玉川台区民センターに、書道サークルが有りましたので、お仲間に入れていただきました。

四十代から八十代の方が、和気藹々、書を楽しんでおります。

年に一度の作品展にも出品、画仙紙に書いて仮り巻きにし、ちょっと見映えを良くして、皆さんに見ていただきました。

いきいき俳句会

瀬田三丁目　尾崎幸子

瀬田地区会館では、現在詩吟、習字、俳句、日舞、謡曲等々、多勢の高齢者の方々が、それぞれに生きがいの一つとして楽しく活動をつづけております。

それら部活動の内、私の所属は瀬田寿会俳句部です。

現在、部員十三名、平均年齢七十四才、毎月一回の会合を楽しみながら勉強しています。前回出された季題を参考に生活体験、旅行の思い出など五句作って持ち寄り、互選する方法です。

終了後のお茶のひとときや、〝かりがね〟紙に達ばれたりすることも、又楽しみです。

用賀納涼の夕べ

用賀二丁目　飯田岩男

用賀駅から西へ続く競道は、歩道に百人一首をデザインした瓦の道です。夏には子供達で賑わう流れもあり、木陰をつくる緑の街路樹と共に、人々の憩いの道として親しまれています。

用賀町会では毎年8月19日、ここで納涼の夕べを開催します。昔の小川を思わせる泥鰌つかみでは、子供達が水の中で大騒ぎ・夕暮れには近所の人々が自作の灯籠舟を持ち寄り、流れに浮かべて力作を競います。

昔の暮らしを子供達に伝える機会として、用賀の風物詩の一つになっています。

はなの街道

ぼやき節

鈴木武一

時刻もすぎれば世も変わる
年に一度の花でさえ
去年とことしじゃ違います
天気かげんで色も香も
まして此の世の人生は
花とあらしとアメと鞭
小径の花が咲やいた
園児の髪を飾ったり
靴底いたいッ踏まれたり
だけど仲間が洋館の
窓辺の鉢で咲いていた
運の良い奴いるんだな
高速道路で排気ガス
吸っても平気の夾竹桃
道路公団すいせんで
今日も咲いてる紅い花
ヤイ高　葉が宮いました
路上駐車は困ります
歩道にのり上げ知らん顔
三日も留めてある相な
狭い歩道を邪魔してる
伸びた夏草言ってます
県ナンバー　図々しいな
外人さんが笑ってた
ポイ捨て空缶困りもの！
ビニール袋のお買物
毎日ゴミの倍増で
他人の迷惑気にしない
公共心はどうしたの
フロシキ買物なつかしい
ボツ〜〜咲きだす百日紅
さるすべりとも申します
暑い夕陽を身に受けて
街路樹さんの仲間入り
信号待ちのバスの窓
そろ〜〜秋の仕度かな
今日は「海の日」土用の日
「うなぎ」も映画でグランプリ
夏休みだいボク達は
故郷キラバンゆきたいね
父さん母さん連れてって
お盆太鼓の音がする

ひろば　ご希望の方は　出張所においてありますので　どうぞ

回覧

郷土紹介

用賀の観音さま

昔より苦いも深き観世音

願む人には利益無量寺

これは、用賀の古刹、無量寺に伝わるご詠歌です。

無量寺は浄土宗のお寺で正式の名は崇鎮山観音院無量寺、草創は今から約四百年前の文禄年代、光運社明誉寿広和尚により開山されたと言われています。

今、本堂前には樹齢百有余年の大銀杏の木がそびえ緑におおわれた境内は、昭和五十九年、世田谷百景の一つに選ばれています。

又、このお寺は、古くから『用賀の観音さま』としても有名で、本堂脇の観音堂に木彫の十一面観世音菩薩が安置されています。

寺伝によれば、江戸時代の初め、用賀の住人、高橋六右衛門尉直住と云う人が品川の浜で漁師の網にかかった観音像を譲り受け、家に持ち帰って大事にしていたところ〃村の無量寺に納めよ〃との夢の告げがあり当寺に観音さまが祀られるようになったとの事です。

その後、『用賀の観音さま』信仰は、近隣村々はもとより、遠く阿佐ヶ谷、高円寺、入間（調布）まで広まって行きました。

観音堂の正面、上の方に『大悲殿』という額がかかっていますが、これは明治初年の著名な日本画家、菊池容斎の筆によります。

（飯田）

上用賀やぐらの会

上用賀六丁目　和田善之

平成四年度に始めた「上用賀納涼盆踊り」も、早いもので、今年で六回目を迎えます。

地域の人に「今年は何日にやるの？」とよく聞かれたり、来場者も年々ふえ、やぐらのまわりは子供も大人も輪になって楽しそうに踊っています。又、出店や、ゲームコーナーなどからも家族や友人同志の笑い声が聞こえてきます。

開催準備などは大変な仕事です。しかし、終った後は、実行委員、ボランティアの人達と一緒に「ヤッター」という満足感でいっぱいになり、来年も皆んなで頑張ろうという気持になります。

今年も、

八月二十九日（金）

三十日（土）

やぐらの下でお待ちしております。

まりの姿を心とし

翠町二丁目　中平敬子

実の母は戦後、物のない時代に荷造り紐でマクラメ編みの手さげ袋を考案し、主婦連で指導したり、日本古来のてまりを初めて本にまとめるという仕事を目の当たりにしているうちに、私の手芸への興味心はいつか育って行ったようです。

子育ても終った頃、いつもてまりをかがっている母の背に老齢を見るようになり、指導や本の製作を少しずつ手伝う時間が多くなりました。

母の手元にあった数多くのてまりを、そのまま埋もらせては忍びなく、亡夫の遺志でもあったてまり保存を考え、母の八十八才の誕生日に、『てまり文庫』を作りました。

九十一才で亡くなる迄、毎日、糸、針を手にし、指先を使っていた母を想い、世田谷の一隅に、日本、いや世界に唯一の、てまり展示場を守って行きたいと願っています。

母の作った

『毬まるく

まりの姿を心とし

今日もかがりぬ

五彩のてまり』

の歌を真摯として、てまり作りを続けている此の頃です。

趣味の広場

スポット

盆踊り

①用賀4丁目くすのき公園
7月22日(火)23日(水)

②玉川3丁目高架下広場
7月25日(金)26日(土)

③瀬田小学校
8月2日(土)3日(日)

④用賀小学校
8月29日(金)30日(土)

児童映画会

①上用賀アートホール
7月22日(火)10時から

②瀬田地区会館
8月7日(木)6時から

③用賀区民集会所
8月25日(月)3時から

用賀納涼の夕べ
8月19日(火)いらか道で

たまがわ花火大会
8月23日(土)

世田谷区民まつり
8月2日(土)3日(日)

あとがき

❋ 地域の人々が公共の施設を、それぞれの年齢層で有効に使っているかが、今回のテーマになりました。

❋ 用賀出張所のエリア内にも、色々なグループが人生を楽しく過すために、それぞれ工夫しています。みなさまの思いを語っていただきました。ご参考になりましたでしょうか。

❋ ミニコミ紙のメインテーマにはいつも知恵の出し合いになります。今回も区の数々ある施設と活動を花にたとえて、人生の花を楽しく咲かせるように編集委員は願って、原稿を書いていただきました。（池田）

挿画・カット　折原